

## 新年度がはじまりましたね

園長 山中 文

日差しもあたたかくなり、そこここに色とりどりの花が咲くようになりました。

お出かけにいい季節になりましたが、先月につづいて、どこも大変な状況が続いております。各ご家庭でも、ご対応に苦慮されていることでしょう。

進学・進級等につきましても変更が続いています。始業式や入学（園）式がなんらかの形でできたとしても、再休校（園）になるところも多い状況です。

本園でも、4月になって、始業式と入園式のたった2日だけ登園日がありました。この状況下ですから、時差登園にしたり、クラスを分けたりして、いつもよりもまばらな登降園です。それでも、始業式では、なつかしい顔が集い、照れ笑いのような表情の子どもたちや、新クラスの名表を楽しく見ておられる保護者のみなさまを拝見することができました。入園式では、小さい子どもたちも可愛いマスク姿で、親子で嬉しそうに登園してくれました。「ああ、いつもは、こういうなごやかな風景を当たり前に見ていたんだ」と、日常の1コマ1コマの大切さをつくづく思ったことでした。

こんな時期ではありますが、子どもたちが家庭で過ごす時間は増えてきました。ご家庭では、どんな遊びが人気でしょうか。本園は、休園中も預かり保育を実施していますが、そこでは、なわとびをずっとがんばったり、竹馬やトランポリンにチャレンジしたりしている様子が見られます。ござのシートに乗ってアラジンごっこをするなど、想像力豊かな遊びも出てきました。室内では、桜の花びらを紙でつくったり、自分で考えたドレスを描いて絵本をつくったりしています。発泡スチロールでできた卵に絵を描いてイースターエッグをつくったり、それに「あたり」や「はずれ」をつけておみくじ遊びをしたりと、遊びを発展していく姿も見られます。

本来、子どもたちは、たくましく遊びを創造していくことができます。この時期でのご家庭でも、少しでも子どもたちが少しでも楽しい遊びを見つけられたらと願います。

